

越後高田町家三昧 (高田の町家を活かしたまちづくり)

越後高田町家三昧世話人会 上越市

上越市の高田地区は、江戸時代の城下町の都市構造を受け継ぐ歴史的市街地であり、雪国ならではの冬季の生活通路として形成された「雁木」や、うなぎの寝床と例えられる「町家」が数多く残っており、今日もなお、日常生活の中で利用され続けています。

こうした中、町家の見学会や、明治の町家を再生・活用した公共施設「町家交流館高田小町」の整備を開始したことを契機に、市民レベルの取組として町家を活かしたイベント「越後高田町家三昧」が平成18年からスタートしました。

地域住民が所有する町家の内部を公開することだけに止まらず、甘味処、お休み処のほか、絵画や写真作品展、コンサート、お茶会、雑貨店などの催しを、毎回趣向を凝らし、企画、開催しています。歴史資源である「町家」を保存だけの目的ではなく、あくまで生活の場として町家を再評価・活用し、地域で楽しみながら保存できる工夫をしています。

公開町家軒数は、当初の4軒から現在は15軒に増えており、年4回のイベント開催時期のほか、雁木や町家が数多く残る地区として、町並みを

眺めながら散策する観光客など、日常的に訪れる人が増加しています。



町家公開「甘味処」



町家コンサートの様子



町家公開「お休み何処」



まちなみ散策ツアー（町家の住民による説明）

- ◆所在地
新潟県上越市大町 他
- ◆活動内容
越後高田町家三昧 春、夏、秋、冬の巻
- ◆活動主体名
越後高田町家三昧世話人会
- ◆連絡先
越後高田町家三昧世話会 上越市幸町11-12
025-522-1946

